

アンケート項目		
生徒＝「あなたは」 保護者＝「あなたのお子さんは」 教職員＝「笠井中の生徒は」		
1	自己肯定感	自分にはよいところがある。
2	将来への希望	将来の夢や希望があり、そのために努力している。
3	規範意識	社会のルールを守り、正しいマナーを身に付けて生活している。
4	あいさつ	友達や先生や地域の人に気持ちの良いあいさつができています。
5	思いやり	思いやりや優しさをもって、周囲の人に接することができる。
6	学校生活全般	楽しく笠井中学校に通っている。
7	先生の対応	先生は、生徒や保護者の悩みに親身になって対応してくれる。
8	先生の授業	先生は、分かりやすく授業を進めてくれる。
9	授業への取組	集中して授業に取り組んでいる。
10	家庭での学習	家庭学習(学校の課題を含む)にしっかりと取り組んでいる。
11	係活動	積極的に委員会活動や係活動に取り組んでいる。
12	言語活動	話し合い活動に積極的に参加し、自分の意見を発言している。
13	部活動	部活動や自分の目標としている活動に前向きに取り組んでいる。
14	行事	学校行事や総合的な学習を通して、自分を成長させている。
15	地域活動への参加	地域の活動やボランティア活動に積極的に参加している。
16	交通安全	交通ルールを守って、安全に登下校している。
17	保健健康	ケガや病気をしないように健康管理に気を付けている。
18	生命尊重	自分や友達、動植物の命を大切にしようとする心をもっている。
19	SNS	SNSの危険性について理解しており、使用する場合は気を付けている。
20	キャリアの力	キャリア教育によって身に付けたい4つの「キャリアの力」を知っている。
21	キャリアパスポート	キャリアパスポートに努力したことや目標を記録している。
22	広報活動	笠井中の様子は、学校・学年だよりやホームページで伝えられている。

令和6年度 学校評価 アンケート集計

生徒、保護者に学校生活に関する満足度を、22項目に区分してアンケートをとりました。
質問に対し、1＝そう思う 2＝大体そう思う 3＝あまりそう思わない 4＝そう思わない で回答していただき、その結果をレーダーチャートの多角形に集計しました。
※「答えにくい質問には無回答でよい」としたため、質問によって回答数や回答傾向に偏りが生じています。
※ 教員による自己評価も数値化しました。参考までに重ねて御覧ください。

【考察：令和7年度に向けて】
ほとんどの項目で肯定的な回答が増えました。特に、今年度の生徒の満足度が高いのは、「規範意識」「部活動」「SNS」「先生の対応」「広報活動」、続いて「自己肯定感」「あいさつ」「思いやり」「学校生活全般」「保健健康」も高い結果となりました。多くの笠中生が、前向きな気持ちで学校生活を送っていること、また講話や道徳教育、生徒指導などの機会を通じて素直に心を動かし、よりよい生き方を目指して頑張っていることが読み取れます。
また、「将来への希望」と「家庭での学習」の2項目は比較的ポイントが低いため、今後もキャリア教育の充実や丁寧な学習指導が必要ですが、少しずつ改善傾向にあるとも言えます。今後も一層、キャリア教育を軸にした教科学習や総合的な学習、生き方講話、体験活動の充実など、継続的かつ効果的な教育活動を計画し、自分らしく夢や希望を思い描く力を育成します。
保護者の満足度は生徒よりもやや低く、保護者が学校の様子や生徒の活躍する姿をとらえにくい現状があると考えられます。授業参観や三者面談、ブログ等からの発信などを一層活性化して、学校の活動や生徒の様子がより伝わるような取り組みを進めます。
また、「地域活動への参加」のポイントが低いのは、ボランティア活動等地域に貢献する活動に参加できていないという生徒の自覚が影響していると考えられます。防災活動や祭りへの参加状況、日頃の挨拶や親切など地域との関わりを見つめ直し、今後も積極的に地域と関わろうとする意識を高めていきます。

